

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所みつばちキッズ				公表日	令和 8年 3月 6日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		お子さま一人ひとりがのびのびと活動できるよう、定員に対して十分な広さのスペースを確保し、安全な環境づくりに努めております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令の配置基準よりも手厚い人員体制を整えることで、お子様の安全確保を徹底し、細やかなサポートができる環境を維持しております。	1対1での支援が必要なお子様が増えてきているので、スタッフのスキルアップを目指し、より良い支援が出来るように心掛けていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		施設自体はバリアフリーの構造になっています。個々の特性に応じて、子どもたちが居心地良く過ごせるように配慮しております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動前、活動終了後には必ず換気・清掃・アルコール消毒を行い、清潔で居心地の良い空間を目指しております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもたちの健康状態や、気持ちの切り替えができた時など、放デイの部屋や静養室、相談室を利用して対応しております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼やミーティングによる情報共有を密に行い、チーム一丸となって支援の振り返りと改善を継続しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケートの集計結果は速やかに職員全員で共有・周知しております。いただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、課題解決に向けた業務の見直しと改善を組織的に進めております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月の職員会議や定期的な個別面談を実施し、活発な意見交換と情報共有を徹底しております。現場の課題は全員で共有・検討する場を設け、迅速な業務改善と支援の質の向上に繋げています。	風通しの良い職場環境を構築することで、現場の気づきやアイデアを迅速に支援へ反映させています。職員の意欲向上と、利用者様・ご家族の満足度向上を両立させ、『関わる全員が笑顔になれる事業所』の実現に邁進いたします。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		業務に問題や課題などがある時には法人の会議で報告しております。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的にテーマを決め、自社職員、外部講師による研修を実施しています。研修終了後は全員報告書を提出し、資質向上に努めております。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		面談にて保護者ニーズを深く汲み取り、客観的なアセスメントに基づいた個別支援計画を作成。常にお子様の現状に即した最適な支援を提供できるよう配慮しています。		

13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援会議やケース会議、日毎のミーティング等で情報交換を行い、スタッフ全員でお子様の支援計画を共有しております。	
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		一人一人に合わせた支援計画の下、スタッフ全員が統一した支援ができるように努力しております。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		独自のアセスメントを使用し、子どもたちの成長過程を把握するようにしております。	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		保護者の方との面談や、相談支援事業所とのやりとりの中で、支援に関する意向やニーズを聞き取り、それに基づいて職員間で話し合い、支援目標を設定しております。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		年間の活動計画に沿って、児発管が中心になって立案し、皆で具体的に活動を設定しております。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		一週間を通して同一の活動を継続し、回数を重ねる中での表情の和らぎや身体動作の円滑化など、微細な変容から確かな成長を捉えています。また、習熟度に合わせて活動に変化を加えることで、子どもたちが興味を持続し、常に新鮮な意欲で取り組めるよう配慮しています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		モニタリングの後スタッフで会議をした上で、個々に寄り添った支援内容を計画しております。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼やミーティングなどでその日の活動内容を確認し合っています。変更等にも柔軟に対応できるようにしております。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		療育終了後、全員で振り返りをしています。意見を出し合い、次へ繋げていくよう努力しております。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日個別支援記録にてその日の様子や状態を記録しています。保護者の方や幼稚園や保育園からの情報も共有するようにしております。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行っています。支援の際に気づいたことなどはその都度保護者の方へ連絡し、支援の調整を行っております。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管、担当職員にて参画しています。必要時には幼稚園、保育園の先生方にも声をおかけし連携を図っております。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関との連絡会や研修等に積極的に参加するように心がけています。	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		並行通園先への訪問や、日々の送迎児等に直接先生方と情報共有を行っております。	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学相談会や移行支援会議等へ積極的に参加し、保護者様や移行先機関との緊密な情報共有を図っております。環境の変化がスムーズに進むよう、関係各所との連携強化に努めております。	

関係機関や保護者との連携	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		療育センターと連携を図って、研修に参加したり、アドバイスを貰える機会を設けています。	児童発達支援センターとの連携をもっと深め、スタッフも安心して支援を行えるようにしていきたいと思います。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		近隣保育園との人形劇鑑賞などを通じ、同年代のお子様との交流機会を設けております。今後も合同活動を定期的に予定しており、地域との連携を図りながら、社会性を育む経験の幅を広げてまいります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		ご家庭の状況に合わせ、対面での面談だけでなく、お忙しい保護者様にはお電話等でこまめに状況を共有しております。どのような状況下でも連携を絶やさず、お子様の様子を共有できる体制を整えています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレント・トレーニング研修や家族交流会を実施し、保護者支援の充実を図っています。学びの場と交流の場の双方を提供することで、ご家族全体の安心感と活力に繋がっています。	
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学時や契約時に説明を行っています。必要時にはその都度対応させていただいております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		各種ガイドラインの狙いや具体的な支援内容を個別支援計画の中で明確に提示し、保護者様から十分にご理解とご同意をいただいた上で支援を開始しております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		定期的な面談を実施し、個別支援計画に基づいた支援内容をご説明しております。保護者様から十分にご理解とご同意をいただいた上で、目標を共有しながら支援にあたっております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談に加え、ご相談には随時応じられる体制を整えております。また、お子様の変化や共有すべき事項がある際は、事業所側からも速やかにお声がけするなど、双方向の円滑なコミュニケーションを大切にしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者交流会に加え、ご家族で楽しめるイベントを定期的に開催しております。また、保護者様ご自身の活動やリフレッシュも大切な支援の一部と考え、心身ともにゆとりを持って育児に向き合えるよう、全力で応援しております。	

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合は苦情受付担当者から速やかに苦情解決責任者に報告・相談をし、問題が迅速に解決できるように努力しています。解決後は同じ問題が起こらないように、職員間で共有し、その要因を作らないように努めております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に一回お便りを発行しています。活動報告や連絡事項、来月の予定などを記載し保護者の方へ周知しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に写真掲載承諾書をいただき、ホームページや外部への情報発信に細心の注意を払っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的なスケジュール提示や、個々の理解に合わせた声掛けを行い、活動の見通しが持てるよう配慮しております。お子様が次にすることを自身で把握し、安心して主体的に過ごせる環境づくりに努めております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		「障がいがあるいともない人もみんなが笑顔で過ごせる場所づくり」を掲げ、障がいの理解に繋がるイベントを定期的に開催しております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		お子様の安全を第一に考え、防災・防犯マニュアルを完備し、常に職員の目に触れる場所に掲示して意識の共有を図っています。定期的な訓練を重ねることで、万が一の際にも落ち着いてお子様を守る体制を整えております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務改善計画を策定し、安全管理体制の更なる向上に努めております。消防署指導のもとでの避難訓練に加え、独自の自主避難訓練を定期的実施することで、緊急時における職員の対応能力強化を図っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		投薬依頼書を提出していただき、主に看護師が管理をさせていただいております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時や給食開始時、年度が変わる時に確認しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、その内容に基づいた職員研修や避難訓練を定期的実施しております。計画・実行・振り返りのサイクルを回すことで、安全管理に対する職員の意識とスキルの向上を徹底しています。	
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急時対応マニュアルを完備し、常に迅速な行動が取れるよう体制を整えております。また、全ご家庭に『SOSシート』を提出していただき、緊急時の連絡先や留意事項を全スタッフで即座に共有できる仕組みを構築しております。		

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日々の活動の中での小さな気づきを『ヒヤリハット』として記録し、スタッフ全員で共有しています。『次はどうすれば防げるか』を常に話し合い、危険の芽を事前に摘み取ることで、お子様が安心して活動に集中できる環境を守ります。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修に参加した職員が、職員会議やミーティングで全職員に周知するようにしています。また3ヶ月に一度、虐待防止委員会を開催し、適切な運営ができていないか確認をしております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に十分に説明し了承を得ています。個別支援計画書には記載していませんが、別文書（同意書）にて管理・保管しています。	